

WSFジャパンの規約が決まりました。また、スポーツ界の各ジャンルから幹事を出していただくことになりました。多くの意見に耳を傾け、今、女性がかかえている問題を的確にとらえ、より充実した活動をしていきます。

去る8月26日、日本スポーツマンクラブにおいて昭和63年度WSFジャパン総会を開催しました。今回はその内容についてご報告します。

まず規約案をもとに、正式な規約についての話し合いがありました。その際、今までの個人会員、団体員の場合に、学生会員、賛助会員のワークも設けてほしいとの意見があり、出席者全員了承を得ました。

今後の活動の方向として、女性スポーツの現状を具体的なデータで把握し、問題点を解決していくためのアンケートの実施やWSFジャパン・ニュースでの紙上討論会なども行っていくことになりました。皆さんからのご意見は大歓迎です。どしどしお寄せください。また活動の核となるグループとして、各ジャンルから1人ずつ幹事を出していただくことも決定しました。より広い視野で、これらの女性スポーツを考えていきたいと思えます。

当日は、総会のと、ジャーナリストの谷口源太郎さんに「企業はなぜスポーツイベントに大金を出すのか」というテーマでご講演いただき、出席さ

れた皆さんに好評を得ました。またJOC委員の小野清子さんから「オリンピック日本選手団に女子役員はいつ誕生するのか」というお話も伺いました。(スケジュールの都合でテープ録音したのも、今号と次号でお2人の講演内容を紹介します。

オリンピック日本選手団に女子役員はいつ誕生するのか

JOC委員 小野 清子  
女性のオリンピック役員の中でも、一番関心をもたれているのが、シャペロン(女子選手団長)のことだと思えます。私達選手として試合に参加して、無意識のうちに、そのような方がいまして、気持ちの上で支えになったりゆとりになったりするような感があります。現在の選手達は若くなって、中学生から社会人までの幅広い年齢層の選手団ですので、同性のそういう方が必要だと、先輩の一人として考えております。

それで、JOCの3月、4月の会で発言させて頂きました。周辺の競技団体からも応援するから、ということ

で発言したのですが、現実には、今回もシャペロンの実現は、ダメだったという事です。理由として、一つには、体協の中の本部役員の人数枠に制限がある、ということ。しかし必要なものは必要で、事実、水泳では、シャペロンのような人が用意されていきました。

以前のローマ大会の頃は、女子村が隔離されていたので男性コーチからの伝達係が必要だったのが、ソウルでは同じマンション内なので必要がない、という理由もありました。しかしそんな便宜上のことでなくとも、精神的なストレス緩和の為にも必要ではないでしょうか。後日、立ち話で、2競技に1名の割で女子役員を入れる事になったというのを聞きました。シャペロンが居る空間があると、誰でも立ち寄れる所で、外国選手との交流の場所にもなるのではないのでしょうか。もう一つの理由が、規則に明記されてないことですが、あくまでも「置くことができる」一置かなくてもよい」と日本では解釈しているようです。しかし、生理やそれに関する買物をし

男性コーチがすぐ手をかけて対処するわけにはゆかず、「必要がなくても、あって余分なものではない」ものだと思います。シャペロンの存在が、選手的身心両面のコンディション作りに大きな見えないパワーとなるのではないかと思います。

予算上厳しい日本ではこれから、スポーツの為の資金財団でも作って、研究者や指導者にオリンピックに参加してもらって、今後の女性スポーツの方向を考えてもらうなど、どうでしょうか。今回シャペロンという言葉に固執し過ぎた所がありますが、今後の問題として、男性に頼りすぎている現在の役員構成では勉強のチャンスもない、その意味で、世界中の選手やコーチが一堂に会するオリンピックこそ絶好の勉強の場ですので、一人で多くの方が参加して、観て頂いて、勝てばそれをどう継続していくか、負ければ原因は何か、どうすれば良いのか、を話し合う場を作って、継続して行って、バルセロナのオリンピックでの女性スポーツの振興に結びつけていって頂ければと思います。

WSFジャパン規約 (抜粋)

昭和63年9月1日発効

▲総則  
名称 本会の名称は WSF Japan (Women's Sports Foundation) Japan(女性スポーツ財団日本支部)とする。

目的 本会は、スポーツに携わる女性の抱える諸問題の解決、女性の側からのスポーツの研究などを通じ、より多くの女性が健康を獲得し、豊かな生活を送ること、そしてチャンピオンを自指す女性には、よりよい環境を提供できる社会の実現を目的とする。

事務局 本会の事務局は当面、〒150 東京都渋谷区西原3-36-23 1202 SPORTS 21内に置く。

①女性スポーツ全般に関する研究会、講演会を開催する。  
②各団体会員を中心に、国内及び国際親善交流大会(或いは催し)を開く。  
③機関紙はSPORTS 21の協力を得て、季刊で発行する。  
④その他、会員の希望により随時、行事を企画入れる。

▲会 員  
会員の資格 女性スポーツに関心を持

ち、女性スポーツの発展に寄与したいと考えて入れば年齢、性別、国籍などに一切関係なく、入会することができ、  
入会金・年会費 入会と同時に入会金と年会費を支払い、その後は会計年度の終る3月31日までに、翌年度の年会費を納入する。学生会員：入会金3000円 年会費5000円 個人会員：入会金3000円 年会費8000円 団体会員：入会金5000円 年会費15000円 賛助会員：入会金5000円 一口100000円(年間) 振り込み先：郵便振替口座/東京9164790 女性スポーツ財団日本支部 銀行振込口座/富士銀行新宿支店 普通預金570426 WSF Japan  
▲会 計  
収入 本会に入会金、会費、寄付金、その他の収入によって運営する。  
会計年度 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に移す。

▲役 員  
役員 本会では、加盟組織の代表と各分野の代表を幹事とし、監事2名をおく。なお、活動の対外窓口として、代表幹事を1名置くことができる。  
役員の選任 代表幹事、幹事及び監事は、会員の中から総会で選任する。  
顧問 本会に顧問を置くことができる。顧問は幹事会の推薦を受けて委嘱する。顧問は、本会の重要事項について随時、幹事会の諮問に応ずる。

この機能は、海を愛する人のために。

海中を魚たちのように泳ぐ時、人はどうして静かな気持ちになれるのか。それは海が命の息、ふるさとのしるし。ここにお見せした時計は海と深くつきあう人の時計です。100m防水0.01mm下の海の圧力に耐え、正確に時を刻み、2計と文字盤を貫く暗黒海中で25回はなれたところから判読できる60カワスの耐磁性を持ち、4.5mmを分単位でクリックできます。国際標準化機構ISOのスキューバ規格をこころよくクリアする。ここで、この時計は美しその中に野生を取り戻したので、セイコースポーツダイバーをエーパ都市に棲む人が海に抱かれる時の新しい時計。

セイコースポーツ  
ダイバーズキューバ  
STBL002.....45,000円  
標準小売価格●200m潜水用防水●夜光つき  
〒104 東京都中央区京橋2-6-21